

C) 普及啓発等を通じて新たな拡散を防止する種類

## セイタカアワダチソウ

キク科 *Solidago altissima*

原産地：北アメリカ

生態系被害防止外来種リスト：重点対策外来種

### 特徴

キク科の多年生草本で、1～2.5mほどに成長する。秋に黄色の花を咲かせる。種子繁殖の他、地下茎による栄養繁殖によっても増える。

**葉** : 葉は長さ 5～15cm、幅 1～2.5cm で、同じ場所から 1 枚ずつの葉が出る互生。形は披針形で表面はざらつく。

**根** : 地下茎と呼ばれる横向きに伸びる茎が地下にある。

**繁殖** : 種子繁殖のほか、地下茎からクローンでも繁殖する。



**影響** : 密集して生育し、セイタカアワダチソウの純群落を作ることから景観を大きく改変してしまうほか、在来種の生育環境を奪ってしまう。また周囲の植物の成長を阻害する物質を分泌することが知られている(アレロパシー)。

**侵入状況** : 奄美大島全体で日当たりの良い路傍、草原などに侵入が見られる。

**対策状況** : 環境教育や地域イベント等で局所的な駆除作業が実施されている。

**防除のコツ** : 種子が出来る時期(11月頃)以前に駆除作業を行うのが望ましい。地下茎から増えるため、根

から丁寧に抜き取りを行う必要がある。

リンク : 鹿児島県外来種駆除対応マニュアル セイタカアワダチソウ  
[https://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/gairai/documents/72338\\_20190520154740-1.pdf](https://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/gairai/documents/72338_20190520154740-1.pdf)